

令和4年度 事業報告書

令和4年4月1日より令和5年3月31日まで

1. 事業実施の方針と成果

事業実施の方針	事業の成果
<p>令和4年度は、</p> <p>(1) 環境問題改善に関するコンサルティング事業として、引き続き EA21 の普及促進、及び宇都宮市の環境マネジメントシステム (EMS) 適合性評価への支援活動を継続する。また、栃木県等が主催、主管する環境関連施策へ積極的に協力参加する。</p>	<p>(1) カウンセリング事業では、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栃木県主催による「自治体イニシアティブ・プログラム」への講師派遣を実施した。「EA21 普及セミナー」は新型コロナウイルス (以下コロナと略す) で中止した。</li> <li>・宇都宮市の環境マネジメントシステム (EMS) 適合性評価への支援活動を実施した。</li> <li>・エコアクション21 審査員力量向上勉強会を実施した。</li> </ul>
<p>(2) 環境に関する講演会、イベント等の企画開催事業では、鬼怒川自然観察会は「平石地区鬼怒川カワラノギクを守る会」と共催で実施する。また、NPO 法人環境カウンセラー全国連合会 (ECU) との交流、市民活動団体や企業等との交流会を通して、環境保全の普及を図る。さらに、環境教育の出前授業をSDGs と結び付けて普及を図ることを目的に、関係機関団体等と連携し、研修会等を開催する。</p>	<p>(2) 企画開催事業では、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自然観察会とホテル探勝会」は、那須烏山市横枕青年団の企画が中止となり、共催出来なかった。</li> <li>・「鬼怒川自然観察会 in2022」は、宇都宮市平石地区の「平石地区鬼怒川カワラノギクを守る会」との共催で規模を縮小して実施した。</li> <li>・環境学習会は、学習会を3回(オンライン2回)開催して会員相互の情報の共有化を図った。</li> <li>・SDGs 関連では、「事業所向け省エネセミナー」の企画を中止した。</li> <li>・「宇都宮市 SDGs 人づくりプラットフォーム」では、オンラインやメールで情報交換した。</li> <li>・「地球温暖化防止活動推進センター」ネットワーク会議は対面で行われ、活動報告を紹介した。</li> </ul>
<p>(3) 環境保全に関する助言、提言事業では、「多面的機能支払交付金事業」に係る田んぼ周りの生き物調査は継続支援し、また、引き続き、企業の生物多様性への取組に対するアドバイス及び支援を行う。なお、自然観察会とホテル探勝会は、企画開催する団体からの要請があれば支援する。</p>	<p>(3) 環境保全対策事業支援では、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度も「多面的機能支払交付金事業」の支援として、登録アドバイザー4名による「田んぼ周りの生き物調査支援」を延べ9件実施した。</li> <li>・企業の生物多様性への取組に対するアドバイス及び支援を昨年に引き続き実施した。</li> <li>・奥日光清流・清湖保全協議会主催による、「湯の湖・湯川・中禅寺湖水質環境学習会 (SDGs 15)」で川虫による水質調査等を指導・支援した。</li> </ul>
<p>(4) 環境教育支援事業では、団体、事業者等からの環境問題に関する講演等の要請には適任者を選任して随時対応する。また、ECU 主催事業や関東 ESD 活動支援センター事業等についての支援を行う。</p>	<p>(4) 環境教育支援事業では、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小山高校の野外活動の一環で、奥日光湯川の生き物による水質調査を指導・支援した。</li> <li>・関東 ESD 支援センター研修会開催に参加した。</li> </ul>
<p>(5) 環境に関する機関誌発行等による広報事業では、TECANews の発行、外部機関誌への投稿、ホームページによる情報発信、さらに各市町主催の展示会等への出展により、当協会並びに環境カウンセラー制度の広報活動を充実させる。</p>	<p>(5) 広報事業では、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・機関誌「TECA NEWS」を1回発行(第68号)した。</li> <li>・TECA メーリングリストによる情報交換を実施した。</li> <li>・外部機関誌「とちぎ法人会だより」へ投稿した。</li> <li>・栃木県地球温暖化防止活動推進センター主催の「Eco テック&amp;ライフとちぎ 2022」会場改修工事にて中止となった。</li> <li>・ホームページでの情報発信等を通して、当法人及び環境カウンセラーのPRに努めた。</li> </ul>

## 2. 事業実施の結果

事業名	事業計画	事業実施結果
<p>(1) 環境問題改善に関する コンサルティング 事業</p>	<p>1) EA21の普及促進の継続 EA21 認証・登録制度の運用に伴い、「エコアクション21地域事務局とちぎ」と連携し、認証・登録の支援体制を維持し、更なるレベルアップを図る支援を展開する。</p>	<p>① 「EA21普及セミナー」支援 コロナへの対応で中止した。</p> <p>② 「EA21自治体イニシアチブ」支援 実施日：令和4年11月～令和5年2月 場 所：宇都宮商工会議所 受講者：10社 従事者：今井・曾我部・中井・岡崎</p> <p>③ 「EA21審査人力量向上勉強会」 実施日：令和5年2月19日 場 所：宇都宮商工会議所 受講者：9名 従事者：今井</p>
	<p>2) 環境マネジメントシステム (EMS) 適合性評価への支援 引き続き、宇都宮市の EMS 適合性評価を支援する。</p>	<p>・EMS 適合性評価支援 実施日：令和5年1月27日 場 所：宇都宮市役所 内 容：「宇都宮市環境マネジメントシステム(もったいないEMS)外部監査」として、環境部環境政策課のEMS事務局の監査を実施した。 従事者：今井・秋場</p>
	<p>3) 企業等からの専門家等の派遣要請への対応 要請があったときにその都度対応する。</p>	<p>・実績無し</p>
	<p>4) 商工会議所等との協働 引き続き、各商工会議所等に対し環境保全活動を提案し、環境取組みの事業化を図ると共に、中小企業への省エネ診断支援や環境対応支援を実施する。</p>	<p>・環境経営セミナー 実施日：10月28日 場所：オンライン(宇都宮商工会議所) 内容：「SDGs×カーボンニュートラル企業成長のために」 参加者：齊藤</p>

<p>(1) 環境問題改善 に関する コンサルティング 事業</p>	<p>6) 栃木県等が主催又は主管する環境関連施策への協力参画</p> <p>①とちぎ未来技術フォーラム</p> <p>②宇都宮都市交通戦略推進懇談会</p> <p>③ とちの環県民会議</p> <p>④ 栃木県地球温暖化防止活動推進センター</p> <p>⑤ 宇都宮市人づくりプラットフォームでの出前講座</p>	<p>① とちぎ環境産業技術振興協議会 ・コロナ対応の情報を会員にメールで配信した。 従事者：岡田</p> <p>② 宇都宮市都市交通戦略推進懇談会 令和5年3月に開催が予定されていたが、コロナへの対応で中止となり、アンケートによる意見聴取に回答した。 従事者：塩山</p> <p>③ とちの環県民会議 ・コロナへの対応で総会並びに授賞式は最小限の人数で実施された。 実施日：令和4年5月27日（金） 場 所：栃木県地球温暖化防止活動推進センター会議室 内 容：総会並びに表彰式 参加者：塩山 ・なお、令和5年3月に次の個人並びに2団体の表彰推薦を行った。 個人推薦：齊藤好広 団体推薦：「柳田緑地クロコムラサキ愛護会」「うじいえ自然に親しむ会」</p> <p>④ 栃木県地球温暖化防止活動推進センター ・地球温暖化防止ネットワーク会議 実施日：令和5年1月24日 場 所：宇都宮市地球温暖化防止活動推進センター 内 容：令和4年度活動実績報告会&amp;交流会へ参加した。 対象者：環境関係6団体 約15名 従事者：塩山、齊藤</p> <p>⑤ 宇都宮市人づくりプラットフォームでの出前講座 ・依頼が無く、実績無し。</p>
--	---	---

<p>(2) 環境に関する 講演会、 イベント等の 企画開催事業</p>	<p>1) 環境学習会の開催と充実</p> <p>コロナ感染状況を把握しながら、毎月の定例会開催に併せて、環境学習会を可能な場合は開催する。また、オンラインによる研修会も検討する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境学習会は、3回開催した。 (オンラインでは2回開催。)</li> <li>① 開催日：9月10日(オンライン) 内容：「オミクロン株と最新情報」 従事者：齊藤 参加者：7名</li> <li>② 開催日：10月8日(対面) 内容：「電気料金と法規制の今後」 従事者：野沢 参加者：7名</li> <li>③ 開催日：11月12日(オンライン) 内容：「CMSC エコロジー緑地及び蝶のビオトープ生き物報告会の内容紹介」 従事者：塩山 参加者：9名</li> </ul> <p>*学習会は、通算102回。</p>
	<p>2) 自然探勝会の実施</p> <p>①鬼怒川自然観察会 「平石地区鬼怒川カワラノギクを守る会」との共催事業として実施する。 実施時期： 令和4年10月23日(日) 予定</p>	<p>① 鬼怒川自然観察会 in2022 実施日：令和4年10月23日 場 所：鬼怒川平石地区下柳田の河川敷 内 容：「平石地区鬼怒川カワラノギクを守る会」が主催し、河川敷の植物・昆虫・鳥・水生生物の観察会を支援した。参加者約50名 従事者：秋場、今井、佐々木、斎藤、塩山、安場 (外部講師：高橋、南谷)</p>
	<p>3) 見学会・交流会の開催(コロナ対応で、状況により実施を検討する)</p> <p>①交流会 NPO 法人環境カウンセラー全国連合会(ECU)及び環境関連団体との交流会(オンラインによる交流会を含む)を検討する。</p> <p>②鬼怒川の歴史を学び上流のダム群を見学しながら会員の交流を図る。 実施時期は検討する</p> <p>③他団体との交流を神戸製鋼「真岡発電所」等の見学会で実施する。</p>	<p>① 交流会 ・コロナへの対応で、中止になった。</p> <p>② 鬼怒川上流ダム群見学 ・コロナへの対応で見学の受け入れが今年度も中止となり、実施できなかった。</p> <p>③ 神戸製鋼「真岡発電所」 ・コロナへの対応で見学の受け入れが今年度も中止となり、実施できなかった。</p>
	<p>4) SDGsの普及に関わる研修会の開催 SDGsと企業の省エネ対策等についてSDGsの理解と普及促進勉強会の支援を行う。県内および宇都宮市人づくりプラットフォームでの活動(オンラインによる交流会を含む)を実施する。</p>	<p>① 事業所向け「省エネ対策・脱炭素構築等」の開催 企画したが、コロナへの対応で自粛した。</p> <p>②「宇都宮市SDGs人づくりプラットフォーム」からの研修会依頼等 依頼が無く、開催無し。</p>

<p>(3) 環境保全に関する 助言、提言事業</p>	<p>1) 環境保全対策事業支援 支援活動の実施 「多面的機能支払交付金事業」に係わる田んぼ周りの生き物調査支援 (旧「農地・水・環境保全向上対策事業」として平成19年から実施中) 昨年の実績を踏まえた調査支援を継続する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境保全対策事業支援 実施日：令和4年7月～10月 場 所：県内 支援活動件数：8か所9件 内 容：「多面的機能支払交付金事業」に係る田んぼ周りの生き物調査支援 従事者：荒木、塩山、中茎、堀</li> </ul>
	<p>2) 企業の生物多様性への取組に対する アドバイス及び支援 キャノンメディカルシステムズ(株)の生物多様性の保全活動支援の継続 内 容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・那須事業所の生物多様性活動の支援</li> <li>・工場と工場周辺の生物モニタリング</li> <li>・バードブランチプロジェクト活動支援</li> <li>・「いきもの観察会」の支援</li> <li>・工場エコロジー緑化と蝶のビオトープの環境維持</li> <li>・生物多様性保全の表彰制度の応募支援</li> </ul>	<p>① キャノンメディカルシステムズ(株) (CMSC(株)) の生物多様性保全活動支援 実施日：令和4年1月～12月 場 所：CMSC(株) 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・那須事業所の生物多様性活動の支援 打合わせを4回実施した。 (2/21、7/8、10/14、11/14) 従事者：塩山、斉藤</li> <li>・工場と工場周辺の生き物モニタリング調査の支援 昆虫、樹木等の調査を3回実施した。 (昆虫：5/11、9/5、樹木：11/17) 従事者：塩山、斉藤 (外部講師：高橋先生、宮本様)</li> <li>・バードブランチプロジェクト支援 鳥類の調査を7回実施した。 (1/24、4/6、4/10、6/19、7/2、7/10、10/31) 従事者：荒木</li> <li>・第7回いきもの観察会 9月開催予定であったが、コロナへの対応で、中止になった。</li> <li>・「生物多様性保全活動のリモート講演会」 開催日：12月2日 従事者：高橋先生、塩山 参加者：CMSCの関係者の約150人が聴衆した。</li> <li>・工場エコロジー緑化と蝶のビオトープの環境維持 バラの整備を3回実施した。 (1月、4/6、9/16) 従事者：曾我部、斉藤 草刈り整備を2月21日に実施した。 従事者：塩山</li> <li>・生物多様性の表彰制度の応募支援 CMSCの「とちの環県民会議(団体)」の申請・受賞を支援した。 受賞日：5月27日 従事者：塩山</li> </ul>

	<p>3) 自然観察会とホタル探勝会 開催する団体からの要請があれば、コロナ感染状況を勘案しながら、可能であれば支援する。</p>	<p>① 自然観察会とホタル探勝会 コロナにより、開催が中止になった。</p> <p>② 湯の湖・湯川・中禅寺湖水質環境学習会 (SDG s 15 陸の自然を守る) 実施日：9月23日 場 所：日光湯元ビジターセンター 及び湯の湖畔 内 容：奥日光清流・清湖の水質の学習会と川虫による水質調査。 参加者；5家族+スタッフ約30名 従事者：塩山</p>
<p>(4) 環境教育 支援事業</p>	<p>1) 団体、事業者等からの環境問題に関する講演等の要請に応じて随時実施する。</p>	<p>・講演会要請への対応 とちの環県民会議の研修会は、コロナへの対応で、中止となった。</p>
	<p>2) 環境教育について 必要に応じて、他の団体等の環境教育に関する活動状況の把握に努め、連携や独自の教育プログラム等(既設のプログラム・教材の利用も含む)の企画、準備を検討する。</p>	<p>① シルバー大学校での環境教育活動 実施日：令和4年4月～令和4年6月 場 所：栃木県シルバー大学校 中央校・南校・北校 内 容：シルバー大学校の講師を務めた。 テーマ「SDGs×気候変動×健康」 受講者：延べ220名(7回) 従事者：齊藤</p> <p>② 小山高校への環境教育支援 ・実施日：7月29日(金) 場 所：奥日光湯の湖・湯川 内 容：小山高校数理科学科 日光自然探究学習会での観察会支援 テーマ：奥日光湯川での水生昆虫による水質調査(SDG s 15)支援 対象者：55名 従事者：塩山</p> <p>・実施日：12月21日(水) 場 所：小山高校体育館 内 容：日光自然探究学習会発表会 対象者：約200名 従事者：塩山</p> <p>③ 大田原高校への環境教育支援 ・実施日:令和4年11月8日 場 所:大田原高校 内 容:大田原スーパーサイエンススクール中間発表指導 受講者:100名 従事者:佐々木</p> <p>・実施日:令和5年1月17日 場 所:大田原高校 内 容:大田原スーパーサイエンススクール活動支援 受講者:4名 従事者:佐々木</p>

	<p>3) NPO 法人環境カウンセラー全国連合会 (ECU) 主催事業についての支援</p>	<p>・ ECU 事業についての支援 ECU 主催事業の企画への参画 「令和 4 年度環境カウンセラー研修会」は、オンライン研修会で開催された。 日 時：令和 5 年 1 月 15 日～30 日 参加者：齊藤、曾我部、堀</p>
	<p>4) ESD 活動支援センター主催事業への参画 ・環境省 ESD 活動拠点施設の登録に伴う活動 ・活動レポート掲載の活用、メールによる情報交換、オンラインによる研修会等に参加する。</p>	<p>① ESD 推進ネットワーク全国フォーラムへのオンライン参加 実施日：12 月 10 日 参加者：齊藤 ② 関東 ESD 活動推進センター主催研修会 実施日：令和 5 年 3 月 5 日 参加者：齊藤</p>
	<p>5) 環境省「つなげよう、支えよう森里川海プロジェクト」加盟による活動 生物保護活動の積極的紹介を図る。 メールによる情報交換を行う。</p>	<p>・環境省「つなげよう、支えよう森里川海プロジェクト」主催事業への参画 内容：「令和 4 年度鬼怒川自然観察会」出前講座開催を掲載した。 参加者：齊藤</p>
	<p>6) 宇都宮市 SDGs 人づくりプラットフォーム主催事業への参画・支援 環境教育関連講座の企画開催、メールによる情報交換やオンライン研修会等に参加する。</p>	<p>・SDGs 人づくりプラットフォーム HP に鬼怒川自然観察会（共催による出前授業）の活動実績を 10 月 26 日に事務局へ提出し、プラットフォームのホームページに掲載中。 従事者：齊藤</p>
<p>(5) 環境に関する 機関紙発行等 による 広報事業</p>	<p>1) 機関誌の発行 発行部数：200 部 発行予定回数：年 2 回程度 配布先：会員、関係団体、市町（無料）</p>	<p>機関紙「TECA NEWS」の発行 発行部数：各 200 部 発行回数：1 回 第 68 号（令和 4 年 10 月 1 日発行）  配布先：会員、関係団体、行政機関の他に交流会やイベント等で配布した。</p>
	<p>2) IT による情報伝達 当法人のホームページで随時情報を発信していく。 メーリングリストにより会員相互の情報交換を図る。</p>	<p>① ホームページは、適時更新を行った。 ② コロナ対応で定例会や各種事業が中止になる中、メーリングリストによる情報交換で会員同士の交流が図られた。</p>

	<p>3) TECA の P R        下記の展示会等に出展しテクアの P R を実施する。展示企画の内容については検討する。</p> <p>① 栃木県地球温暖化防止活動推進センター主催        「Eco テック&amp;ライフとちぎ 2022」        日 時：未定        場 所：未定        従事者：5 名程度</p> <p>② その他の市町村等で開催する環境イベントへの参加        随時、会員からの要請や情報入手し、参加を検討する。</p>	<p>① 「Eco テック&amp;ライフとちぎ 2022」会場改修工事にて開催が中止となった。</p> <p>② 市町村への環境イベントへの参加。実績無し</p>
	<p>4) 外部機関誌への投稿        昨年度に引き続き、外部機関誌への投稿を通して、環境保全の啓発並びに会の PR を図る。</p> <p>① とちぎ法人会 会報        「とちぎ法人会だより」</p> <p>② 株式会社 井上総合印刷        季刊誌 「しもつけの心」</p>	<p>① 「とちぎ法人会だより」への投稿  <b>【社団法人 栃木法人会】</b>        (令和 4 年 8 月号) 堀        (令和 5 年 1 月号) 野沢</p> <p>② 季刊誌「しもつけの心」への投稿  <b>【(株) 井上総合印刷 発行】</b>        (令和 5 年 4 月号 投稿 3 月) 今井</p>